

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
-	学長	トモダ コウイチ 友田 幸一 <平成27年4月>		医学博士		関西医科大学学長 (平成27.4~31.3)

教 員 の 氏 名 等													
(看護学研究科博士前期課程)													
調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年	当 次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申 請 に 係 る 大 の の に す る 週 当 た り 平 均 日
1	専	教授	カタダ ノリコ 片田 範子 (平成30年4月)		Doctor of Nursing Science (米国)		看護理論 看護管理学 看護倫理 看護開発特論 看護開発演習 基盤看護学特別研究	1・① 1・③ 1・① 1・① 1・②③(通) 2・通		2 0.4 2 2 4 2	1 1 1 1 1 1	兵庫県立大学大学院 看護学研究科 教授 (平5.4)	5日
2	専	教授	スギモト テツオ 杉本 哲夫 (平成30年4月)		医学博士		高度フィジカルアセスメント 高度病態生理学 プライマリケア看護 老年看護学病態・治療論	1・② 1・① 1・② 1・②		1 1 2 2	1 1 1 1	関西医科大学大学院 医学研究科 教授 (昭63.4)	5日
3	専	教授	ミズノ トシコ 水野 敏子 (平成30年4月)		博士 (看護学)		老年看護学理論 老年看護学アセスメント論 老年看護学援助論 老年看護学病態・治療論 老年社会システム論 老年高度看護学演習Ⅰ 老年高度看護学演習Ⅱ 老年高度看護学実習Ⅰ 老年高度看護学実習Ⅱ 老年高度看護学実習Ⅲ 生涯発達看護学特別研究	1・① 1・① 1・② 1・② 1・② 1・③ 1・③ 1・②③(通) 2・① 2・② 2・通年		2 2 2 2 2 2 3 2 4 4 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	広島国際大学大学院 看護学研究科 教授 (平28.4)	5日
4	専	教授	ハヤシ ユウコ 林 優子 (平成30年4月)		看護学 博士		看護管理学 高度病態生理学 クリティカルケア看護学概論 急性・重症患者看護治療技術 急性・重症患者看護管理技術 クリティカルケア・がん治療看護学 クリティカルケア看護学演習Ⅰ クリティカルケア看護学演習Ⅱ クリティカルケア看護学実習Ⅰ クリティカルケア看護学実習Ⅱ クリティカルケア看護学実習Ⅲ 治療看護学特別研究	1・③ 1・① 1・① 1・② 1・③ 1・② 1・③ 1・②③(通) 2・① 2・② 2・通		0.4 1 2 2 2 2 3 3 3 4 4 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	大阪医科大学大学院 看護学研究科 教授 (平22.4)	5日
5	専	教授	フジモト エツコ 藤本 悦子 (平成30年4月)		医学博士		高度フィジカルアセスメント 高度臨床薬理学 看護生体情報特論 看護生体情報演習 基盤看護学特別研究	1・② 1・① 1・① 1・②③(通) 2・通		1 1 2 4 2	1 1 1 1 1	名古屋大学大学院 医学系研究科 教授 (平24.4)	5日
6	専	教授	ウエノ マサエ 上野 昌江 (平成31年4月)		博士 (保健学)		ヘルスプロモーション・疾病予防 地域看護学特論 地域看護学支援論 地域看護学演習Ⅰ 地域看護学演習Ⅱ 広域看護学特別研究	1・① 1・① 1・② 2・① 2・② 2・通		1.2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	大阪府立大学大学院 看護学研究科 教授 (平17.4)	5日
	兼任	講師	ウエノ マサエ 上野 昌江 (平成31年4月)		博士 (保健学)		ヘルスプロモーション・疾病予防 地域看護学特論 地域看護学支援論	1・① 1・① 1・②		1.2 2 2	1 1 1		
7	専	教授	ヤスカタ フミコ 安酸 史子 (平成30年4月)		博士 (保健学)		看護教育論 看護学教育論 看護人材開発・生涯学習論 看護実践教育カリキュラム開発演習 看護実践教育実習Ⅰ 看護実践教育実習Ⅱ 看護実践教育実習Ⅲ 基盤看護学特別研究	1・① 1・① 1・① 1・② 1・②③(通) 2・① 2・② 2・通		2 2 2 2 2 3 3 2	1 1 1 1 1 1 1 1	防衛医科大学 医学教育部 看護学科 教授 (平26.4)	5日

調査番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配年	当次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る職務等に関する週当たり平均日
8	専	教授	カトウ レイコ 加藤 令子 (平成30年4月)		博士 (看護学)		災害看護学 高度実践看護師の役割と機能 こども健康生活論 こども看護援助論 こども臨床推論・診断学 こども看護治療技術 こども看護調整技術 こども高度看護学演習Ⅰ こども高度看護学演習Ⅱ こども高度看護学実習Ⅰ こども高度看護学実習Ⅱ こども高度看護学実習Ⅲ 生涯発達看護学特別研究	1・② 1・① 1・① 1・① 1・② 1・② 1・② 1・② 1・② 1・③ 1・②③(通) 2・①②(通) 2・② 2・通	1 2 2 2 2 2 2 2 2 6 4 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	関西医科大学 医学教育センター 教授 (平28.4)	5日	
9	専	教授	コンドウ(サトウ) マリ 近藤(佐藤) 麻里 (平成30年4月)		博士 (看護学)		災害看護学 国際看護学概論 国際看護学方法論 国際看護学演習 国際看護学実践 基盤看護学特別研究	1・② 1・① 1・② 1・③ 1・② 2・通	1 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	東邦大学大学院 看護学研究科 教授 (平22.4)	5日	
10	専	教授	ミキ アキコ 三木 明子 (平成30年4月)		博士 (保健学)		コンサルテーション論 量的研究法 ヘルスプロモーション・疾病予防 精神看護関連制度・諸理論 精神看護アセスメント技術 精神看護治療技術 精神看護調整技術 リエゾン精神看護学 精神高度看護学実習Ⅰ 精神高度看護学実習Ⅱ 精神高度看護学実習Ⅲ 広域看護学特別研究	1・通 1・② 1・① 1・① 1・① 1・② 1・② 2・① 2・① 2・② 2・③ 2・通	1.8 2 1.2 2 2 2 2 2 3 3 4 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 准教授 (平17.4)	5日	
11	専	教授	セト ナツコ 瀬戸 奈津子 (平成30年4月)		博士 (看護学)		慢性疾患看護概論 慢性疾患看護アセスメント・治療技術 慢性疾患看護調整管理技術 慢性疾患・がん予防看護学 緩和ケア 慢性疾患看護学演習Ⅰ 慢性疾患看護学演習Ⅱ 慢性疾患看護学実習Ⅰ 慢性疾患看護学実習Ⅱ 慢性疾患看護学実習Ⅲ 治療看護学特別研究	1・① 1・② 1・③ 1・② 1・③ 1・③ 1・③ 1・②③(通) 2・① 2・② 2・② 2・通	2 2 2 2 2 3 3 3 3 4 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	関西医科大学 医学教育センター 教授 (平28.4)	5日	
12	専	教授	サカイ ヒロコ 酒井 ひろ子 (平成30年4月)		博士 (保健学)		母性看護対象論 女性健康支援論 女性健康活動論 母性高度看護学演習Ⅰ 母性高度看護学演習Ⅱ 生涯発達看護学特別研究	1・① 1・② 1・② 2・① 2・② 2・通	2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科 教授 (平23.4)	5日	
13	専	准教授	オオタ ユウコ 大田 祐子 (平成30年4月)		博士 (看護学)		看護人材開発・生涯学習論 看護実践教育カリキュラム開発演習 看護実践教育実習Ⅰ 看護実践教育実習Ⅱ 看護実践教育実習Ⅲ 基盤看護学特別研究	1・① 1・② 1・②③(通) 2・① 2・② 2・通	2 2 2 3 3 2	1 1 1 1 1 1	東京工科大学 医療保健学部 講師 (平26.4)	5日	
14	専	准教授	オオハシ アツシ 大橋 敦 (平成30年4月)		博士 (医学)		臨床推論・診断学 プライマリケア看護 こども臨床推論・診断学 こども看護治療技術 こども高度看護学演習Ⅱ	1・② 1・② 1・② 1・② 1・③	2 2 2 2 2	1 1 1 1 1	関西医科大学 医学部 講師 (平18.1)	5日	
15	専	准教授	アオキ サナエ 青木 早苗 (平成30年4月)		修士 (看護学)		コンサルテーション論 慢性疾患・がん予防看護学 緩和ケア クリティカルケア・がん治療看護学 治療看護学特別研究	1・通 1・② 1・③ 1・② 2・通	0.6 2 2 2 2	1 1 1 1 1	高知大学大学院 総合人間自然科学研究科 講師 (平20.4)	5日	

調査番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配年	当次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る職務等に関する週当たり平均日
16	専	准教授	リ クンスン 李 錦純 (平成30年4月)		博士(人間科学)		在宅看護・福祉関連制度 訪問看護ステーションの管理と運営 在宅看護アセスメント技術 在宅看護治療技術 在宅看護調整技術 在宅看護看護学演習Ⅰ 在宅高度看護学演習Ⅱ 在宅高度看護学実習Ⅰ 在宅高度看護学実習Ⅱ 在宅高度看護学実習Ⅲ 広域看護学特別研究	1・① 1・① 1・② 1・② 1・② 1・③ 1・③ 1・②③(通) 2・① 2・② 2・通		2 2 2 2 2 2 3 3 4 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	兵庫県立大学大学院 看護学研究科 准教授 (平25.4)	5日
17	専	准教授	ヤマシタ ユキ 山下 裕紀 (平成30年4月)		博士(看護学)		質的研究法 看護生体情報演習 看護開発演習 基盤看護学特別研究	1・③ 1・②③(通) 1・②③(通) 2・通		2 4 4 2	1 1 1 1	千葉大学大学院 看護学研究科 特任准教授 (平28.4)	5日
18	専	講師	ヒロノ サチコ 廣野 祥子 (平成30年4月)		保健学 修士		地域看護学特論 地域看護支援論 地域看護学演習Ⅰ 地域看護学演習Ⅱ 広域看護学特別研究	1・① 1・② 2・① 2・② 2・通		2 2 2 2 2	1 1 1 1 1	高知大学 医学部 教育研究部医療学系 看護学部門 講師 (平27.12)	5日
19	専	講師	キンバラ キョウコ 金原 京子 (平成30年4月)		博士(学術)		老年高度看護学演習Ⅰ 老年高度看護学演習Ⅱ 老年高度看護学実習Ⅰ 老年高度看護学実習Ⅱ 老年高度看護学実習Ⅲ	1・③ 1・③ 1・②③(通) 2・① 2・②		2 3 2 4 4	1 1 1 1 1	摂南大学 看護学部 講師 (平26.4)	5日
20	専	講師	タケ ユカリ 武 ユカリ (平成30年4月)		修士(社会健康医学)		在宅看護アセスメント技術 在宅看護治療技術 在宅看護調整技術 在宅高度看護学実習Ⅰ 在宅高度看護学実習Ⅱ 在宅高度看護学実習Ⅲ	1・② 1・② 1・② 1・②③(通) 2・① 2・②		2 2 2 3 3 4	1 1 1 1 1 1	神戸常盤大学短期大学部 看護学科 通信制課程 講師 (平21.4)	5日
21	専	講師	ハタナカ カオリ 畠中 香織 (平成31年4月)		博士(文化科学)		国際看護学演習 国際看護学実践	1・③ 1・②		2 2	1 1	同志社女子大学 看護学部 助教 【平27.4】	5日
	兼任	講師	ハタナカ カオリ 畠中 香織 (平成31年4月)		博士(文化科学)		国際看護学演習 国際看護学実践	1・③ 1・②		2 2	1 1		
22	専	講師	イワクニ(イグチ) アキ コ 岩國(井口) 亜紀子 (平成30年4月)		博士(看護学)		女性健康活動論 母性高度看護学演習Ⅰ 母性高度看護学演習Ⅱ	1・② 2・① 2・②		2 2 2	1 1 1	兵庫県立大学 地域ケア開発研究所 周産期ケア研究センター 研究員(助教級) (平26.1)	5日
23	専	講師	タニミズ ナミ 谷水 名美 (平成30年4月)		博士(看護学)		急性・重症患者看護治療技術 急性・重症患者看護管理技術 クリティカルケア看護学演習Ⅰ クリティカルケア看護学演習Ⅱ クリティカルケア看護学実習Ⅰ クリティカルケア看護学実習Ⅱ クリティカルケア看護学実習Ⅲ	1・② 1・③ 1・③ 1・③ 1・②③(通) 2・① 2・②		2 2 3 3 3 3 4	1 1 1 1 1 1 1	大阪医科大学 看護学部 助教 (平22.4～平26.3)	5日
24	専	講師	オオハラ チソノ 大原 千園 (平成30年4月)		修士(看護学)		慢性疾患看護アセスメント・治療技術 慢性疾患看護調整管理技術 慢性疾患看護学演習Ⅰ 慢性疾患看護学演習Ⅱ 慢性疾患看護学実習Ⅰ 慢性疾患看護学実習Ⅱ 慢性疾患看護学実習Ⅲ	1・② 1・③ 1・③ 1・③ 1・②③(通) 2・① 2・②		2 2 3 3 3 3 3	1 1 1 1 1 1 1	大阪大学大学院 医学系研究科 招へい研究員 (平27.4)	5日
25	専	講師	ヤマヤマ ソウ 矢山 壮 (平成31年4月)		博士(看護学)		精神看護治療技術 精神看護調整技術 リエゾン精神看護学 精神高度看護学実習Ⅰ 精神高度看護学実習Ⅱ 精神高度看護学実習Ⅲ 広域看護学特別研究	1・② 1・② 2・① 2・① 2・② 2・③ 2・通		2 2 2 3 3 4 2	1 1 1 1 1 1 1	京都学園大学 健康医療学部 講師 【平27.4】	5日
	兼任	講師	ヤマヤマ ソウ 矢山 壮 (平成31年4月)		博士(看護学)		精神看護治療技術 精神看護調整技術	1・② 1・②		2 2	1 1		

調査番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配年	当次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る等の職務に就任する週当たり平均日
26	専	助教	イソボ メグミ 伊坪 恵 (平成31年4月)		修士 (看護学)		老年高度看護学実習Ⅲ	2・②		4	1	独立行政法人 地域医療機能推進機構 大阪病院 (平26. 4)	5日
27	専	助教	石浦 光世 (平成31年4月)		修士 (看護学)		こども高度看護学実習Ⅱ こども高度看護学実習Ⅲ	2・①②(通) 2・②		4 2	1 1		5日
28	専	助教	クマモト タエコ 熊本 妙子 (平成30年4月)		修士 (看護学)		母性高度看護学演習Ⅰ 母性高度看護学演習Ⅱ	2・① 2・②		2 2	1 1	大阪市立総合医療センター (平23. 4～平29. 1)	5日
29	専	助教	ニシカワ ナオ 西川 菜央 (平成30年4月)		修士 (看護学)		こども高度看護学実習Ⅰ こども高度看護学実習Ⅱ こども高度看護学実習Ⅲ	1・②③(通) 2・①②(通) 2・②		6 4 2	1 1 1	兵庫県立こども病院 CNS (平16. 4)	5日
30	兼任	講師	ニン カズコ 任 和子 (平成30年4月)		博士(人間・環境学)		看護管理学	1・③		1.3	1	京都大学大学院 医学研究科 教授 (平23. 4)	
31	兼任	講師	タムラ ヤヨヒ 田村 やよひ (平成30年4月)		博士 (保健学)		看護政策論	1・③		2	1	日本赤十字九州国際 看護大学 学長 (平28. 4)	
32	兼任	講師	オカヤ ケイコ 岡谷 恵子 (平成30年4月)		博士 (看護学)		看護政策論	1・③		2	1	東京医科大学学事顧問 四天王寺大学顧問 (平29. 4)	
33	兼任	講師	マキモト キョコ 牧本 清子 (平成30年4月)		保健学 博士		疫学的研究法	1・②		1	1	大阪大学大学院 医学系研究科 教授 (平11. 10)	
34	兼任	講師	カワグチ タカヤス 川口 孝泰 (平成30年4月)		博士 (工学)		環境看護論Ⅰ	1・②		2	1	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 教授 (平15. 4)	
35	兼任	講師	ミナミ ヒロコ 南 裕子 (平成30年4月)		看護学 博士		看護の課題・展望Ⅰ	1・②		2	1	高知県立大学 学長 (平23. 4)	
36	兼任	講師	ウリュウ ヒロコ 瓜生 浩子 (平成30年4月)		看護学 博士		家族看護学	1・②		2	1	高知県立大学 看護学部 准教授 (平23. 4)	
37	兼任	講師	オクミヤ アキコ 奥宮 暁子 (平成30年4月)		博士 (医学)		リハビリテーション看護論	1・②		2	1	帝京科学大学 医療科学部 教授 (平26. 6)	
38	兼任	講師	オオタニ ヒトミ 大谷 ひとみ (平成30年4月)		博士 (医学)		高度臨床薬理学	1・①		1	1	関西医科大学 医学部 講師 (昭和52. 3)	
39	兼任	講師	アラオ ハルエ 荒尾 晴恵 (平成30年4月)		看護学 博士		臨床推論・診断学	1・②		2	1	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 教授 (平成21. 4)	
40	兼任	講師	モリヤマ ミチコ 森山 美知子 (平成30年4月)		博士 (医学)		プライマリケア看護	1・②		2	1	広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 成人看護開発学 教授 (平16. 4)	
41	兼任	講師	ウチヌノ アツコ 内布 敦子 (平成30年4月)		博士 (人間科学)		医療の質保証と安全管理	1・②		2	1	兵庫県立大学 看護学部 学部長 教授 (平25. 4)	

教 員 の 氏 名 等													
(看護学部看護学研究科博士後期課程)													
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年	当 次	担 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申 請 に 係 る 大 学 等 の に 従 事 す る 週 当 た り 平均 日
1	専	教授	カタダ ノリコ 片田 範子 (平成30年4月)		Doctor of Nursing Science (米国)		看護と科学 看護の概念・理論構築 研究計画Ⅰ 研究計画Ⅱ 基盤看護学特論 ※ 基盤看護学演習 生涯発達看護学特論 ※ 生涯発達看護学演習 看護学特別研究	1・① 1・③ 1・② 1・③ 1・① 1・②③(通) 1・① 1・②③(通) 1～3・通	2 2 1 1 1 4 1.2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1	兵庫県立大学大学院 看護学研究科 教授 (平5.4)	5日	
2	専	教授	スギモト テツオ 杉本 哲夫 (平成30年4月)		医学博士		脳科学と行動 研究計画Ⅰ 研究計画Ⅱ 基盤看護学特論 ※ 基盤看護学演習 看護学特別研究	1・① 1・② 1・③ 1・① 1・②③(通) 1～3・通	2 1 1 0.9 4 4	1 1 1 1 1 1	関西医科大学大学院 医学研究科 教授 (昭63.4)	5日	
3	専	教授	ミズノ トシコ 水野 敏子 (平成30年4月)		博士 (看護学)		質的看護研究法発展 研究計画Ⅰ 研究計画Ⅱ 生涯発達看護学特論 ※ 生涯発達看護学演習 看護学特別研究	1・② 1・② 1・③ 1・① 1・②③(通) 1～3・通	2 1 1 1.2 4 4	1 1 1 1 1 1	広島国際大学大学院 看護学研究科 教授 (平28.4)	5日	
4	専	教授	ハヤシ ユウコ 林 優子 (平成30年4月)		看護学 博士		看護学研究法 研究計画Ⅰ 研究計画Ⅱ 治療看護学特論 ※ 治療看護学演習 看護学特別研究	1・① 1・② 1・③ 1・① 1・②③(通) 1～3・通	2 1 1 1.4 4 4	1 1 1 1 1 1	大阪医科大学大学院 看護学研究科 教授 (平22.4)	5日	
5	専	教授	フジモト エツコ 藤本 悦子 (平成30年4月)		医学博士		看護生体科学研究 研究計画Ⅰ 研究計画Ⅱ 基盤看護学特論 ※ 基盤看護学演習 看護学特別研究	1・① 1・② 1・③ 1・① 1・②③(通) 1～3・通	2 1 1 0.9 4 4	1 1 1 1 1 1	名古屋大学大学院 医学系研究科 教授 (平24.4)	5日	
6	専	教授	ウエノ マサエ 上野 昌江 (平成31年4月)		博士 (保健学)		研究計画Ⅰ 研究計画Ⅱ 広域看護学特論 ※ 広域看護学演習 看護学特別研究	1・② 1・③ 1・① 1・②③(通) 1～3・通	1 1 1.2 4 4	1 1 1 1 1	大阪府立大学大学院 看護学研究科 教授 (平17.4)	5日	
	兼任	講師	ウエノ マサエ 上野 昌江 (平成31年4月)		博士 (保健学)		研究計画Ⅰ 研究計画Ⅱ 広域看護学特論 ※ 広域看護学演習 看護学特別研究	1・② 1・③ 1・① 1・②③(通) 1～3・通	1 1 1.2 4 4	1 1 1 1 1			
7	専	教授	ヤスカタ フミコ 安酸 史子 (平成30年4月)		博士 (保健学)		看護介入研究法発展 研究計画Ⅰ 研究計画Ⅱ 基盤看護学特論 ※ 基盤看護学演習 看護学特別研究	1・② 1・② 1・③ 1・① 1・②③(通) 1～3・通	2 1 1 1 4 4	1 1 1 1 1 1	防衛医科大学 医学教育部 看護学科 教授 (平26.4)	5日	
8	専	教授	カトウ レイコ 加藤 令子 (平成30年4月)		博士 (看護学)		研究計画Ⅰ 研究計画Ⅱ 生涯発達看護学特論 ※ 生涯発達看護学演習 看護学特別研究	1・② 1・③ 1・① 1・②③(通) 1～3・通	1 1 1.2 4 4	1 1 1 1 1	関西医科大学 医学教育センター 教授 (平28.4)	5日	
9	専	教授	コンドウ(サトウ) マリ 近藤(佐藤) 麻里 (平成30年4月)		博士 (看護学)		研究計画Ⅰ 研究計画Ⅱ 英語論文作成法 基盤看護学特論 ※ 基盤看護学演習 看護学特別研究	1・② 1・③ 1・② 1・① 1・②③(通) 1～3・通	1 1 1 1 4 4	1 1 1 1 1 1	東邦大学大学院 看護学研究科 教授 (平22.4)	5日	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年	当 次	担 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申 請 に 大 の 等 の に 従 事 す る 週 当 た り 平 均 日
10	専	教授	ミキ アキコ 三木 明子 (平成30年4月)		博士 (保健学)		研究計画Ⅰ 研究計画Ⅱ 広域看護学特論 ※ 広域看護学演習 看護学特別研究	1・② 1・③ 1・① 1・②③(通) 1～3・通		1 1 1.2 4 4	1 1 1 1 1	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 准教授 (平17. 4)	5日
11	専	教授	セト ナツコ 瀬戸 奈津子 (平成30年4月)		博士 (看護学)		研究計画Ⅰ 研究計画Ⅱ 治療看護学特論 ※ 治療看護学演習 看護学特別研究	1・② 1・③ 1・① 1・②③(通) 1～3・通		1 1 1.4 4 4	1 1 1 1 1	関西医科大学 医学教育センター 教授 (平28. 4)	5日
12	専	教授	サカイ ヒロコ 酒井 ひろ子 (平成30年4月)		博士 (保健学)		研究計画Ⅰ 研究計画Ⅱ 生涯発達看護学特論 ※ 生涯発達看護学演習 看護学特別研究	1・② 1・③ 1・① 1・②③(通) 1～3・通		1 1 1.2 4 4	1 1 1 1 1	森ノ宮医療大学大学 院 保健医療学研究科 教授 (平23. 4)	5日
①	専	准教授	リ クンスン 李 錦純 (平成30年4月)		博士 (人間科 学)		研究計画Ⅰ 研究計画Ⅱ 広域看護学特論 ※ 広域看護学演習 看護学特別研究	1・② 1・③ 1・① 1・②③(通) 1～3・通		1 1 1.2 4 4	1 1 1 1 1	兵庫県立大学大学院 看護学研究科 准教授 (平25. 4)	5日
14	兼任	講師	ミナミ ヒロコ 南 裕子 (平成30年4月)		看護学 博士		看護の課題・展望Ⅱ	1・③		2	1	高知県立大学 学長 (平23. 4)	
15	兼任	講師	タカギ ヒロフミ 高木 廣文 (平成30年4月)		保健学 博士		看護高等統計学	1・③		2	1	共立女子大学 看護学部 教授 (平28. 4)	
16	兼任	講師	カワグチ タカヤス 川口 孝泰 (平成30年4月)		博士 (工学)		環境看護論Ⅱ	1・①		2	1	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 教授 (平15. 4)	

(看護学研究科博士前期課程)

専任教員の年齢構成・学位保有状況										
職 位	学 位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合 計	備 考
教 授	博 士	人	人	1人	3人	3人	4人	1人	12人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大 学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博 士	人	人	3人	2人	人	人	人	5人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大 学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講 師	博 士	人	2人	2人	1人	人	人	人	5人	
	修 士	人	1人	1人	2人	人	人	人	3人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大 学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助 教	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	1人	2人	1人	人	人	人	4人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大 学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合 計	博 士	人	2人	6人	6人	3人	4人	1人	22人	
	修 士	人	1人	3人	3人	人	人	人	7人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大 学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	

(注)

1 この書類は、申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。

2 この書類は、専任教員についてのみ、作成すること。

3 この書類は、申請又は届出に係る学部等の開設後、当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度(以下「完成年度」という。)における状況を記載すること。

4 専門職大学院の課程を修了した者に対し授与された学位については、「その他」の欄にその数を記載し、「備考」の欄に、具体的な学位名称を付記すること。

(看護学研究科博士後期課程)

専任教員の年齢構成・学位保有状況										
職 位	学 位	29 歳 以 下	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 歳 以 上	合 計	備 考
教 授	博 士	人	人	人	4人	1人	3人	4人	12人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准 教 授	博 士	人	人	人	1人	人	人	人	1人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講 師	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助 教	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合 計	博 士	人	人	人	5人	1人	3人	4人	13人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	

(注)

1 この書類は、申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。

2 この書類は、専任教員についてのみ、作成すること。

3 この書類は、申請又は届出に係る学部等の開設後、当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度(以下「完成年度」という。)における状況を記載すること。

4 専門職大学院の課程を修了した者に対し授与された学位については、「その他」の欄にその数を記載し、「備考」の欄に、具体的な学位名称を付記すること。